



例題 1

次の□にあてはまる数を求めなさい。

- (1) 1が3個、0.1が7個、0.01が4個集まってできる数は□です。
- (2) 0.1が5個、0.001が2個集まってできる数は□です。
- (3) $10 \times 2 + 1 \times 9 + 0.1 \times 3 + 0.01 \times 8 = \square$
- (4) $0.1 \times 6 + 0.001 \times 9 = \square$

答え (1) 3.74 (2) 0.502 (3) 29.38 (4) 0.609

[例題 1 の解説]

小数は1よりも小さい数を表すことができます。

0.1(れいてんいち)は1を10個に分けた1個分です。つまり0.1が10個で1になります。

0.01(れいてんれいいち)は1を100個に分けた1個分です。つまり0.01が100個で1になります。

さん てん ろく ぜろ よん
3 . 6 0 4
↑ ↑ ↑ ↑
↑ 小 小 小 小
↑ 数 数 数 数
↑ 点 第 第 第
↑ 第 第 第 第
↑ 1 2 3
↑ 位 位 位

れいてん じょ に きゅう
0 . 5 2 9
↑ ↑ ↑ ↑
↑ 小 小 小 小
↑ 数 数 数 数
↑ 点 第 第 第
↑ 第 第 第 第
↑ 1 2 3
↑ 位 位 位

- (1) 1が3個で3、0.1が7個で0.7、0.01が4個で0.04です。3と0.7と0.04なので3.74
- (2) 0.1が5個で0.5、0.001が2個で0.002です。0.5と0.002なので0.502
- (3) $10 \times 2 = 20$, $1 \times 9 = 9$, $0.1 \times 3 = 0.3$, $0.01 \times 8 = 0.08$
 $20 + 9 + 0.3 + 0.08 = 29.38$
- (4) $0.1 \times 6 = 0.6$, $0.001 \times 9 = 0.009$
 $0.6 + 0.009 = 0.609$



例題2

次の計算をなさい。

- (1) $2.4+8$
- (2) $1.8+4.5$
- (3) $12-6.7$
- (4) $11.3-5.9$

答え (1) 10.4 (2) 6.3 (3) 5.3 (4) 5.4

[例題2の解説]

小数の足し算や引き算は小数点をそろえて計算します。

- (1) ひっ算は右図のようになります。

$$2.4+8=10.4$$

$$\begin{array}{r} 2.4 \\ + 8 \\ \hline 10.4 \end{array}$$

- (2) ひっ算は右図のようになります。

$$1.8+4.5=6.3$$

$$\begin{array}{r} 1.8 \\ + 4.5 \\ \hline 6.3 \end{array}$$

- (3) ひっ算は右図のようになります。

$$12-6.7=5.3$$

$$\begin{array}{r} 12 \\ - 6.7 \\ \hline 5.3 \end{array}$$

- (4) ひっ算は右図のようになります。

$$11.3-5.9=5.4$$

$$\begin{array}{r} 11.3 \\ - 5.9 \\ \hline 5.4 \end{array}$$



例題3

次の計算をなさい。

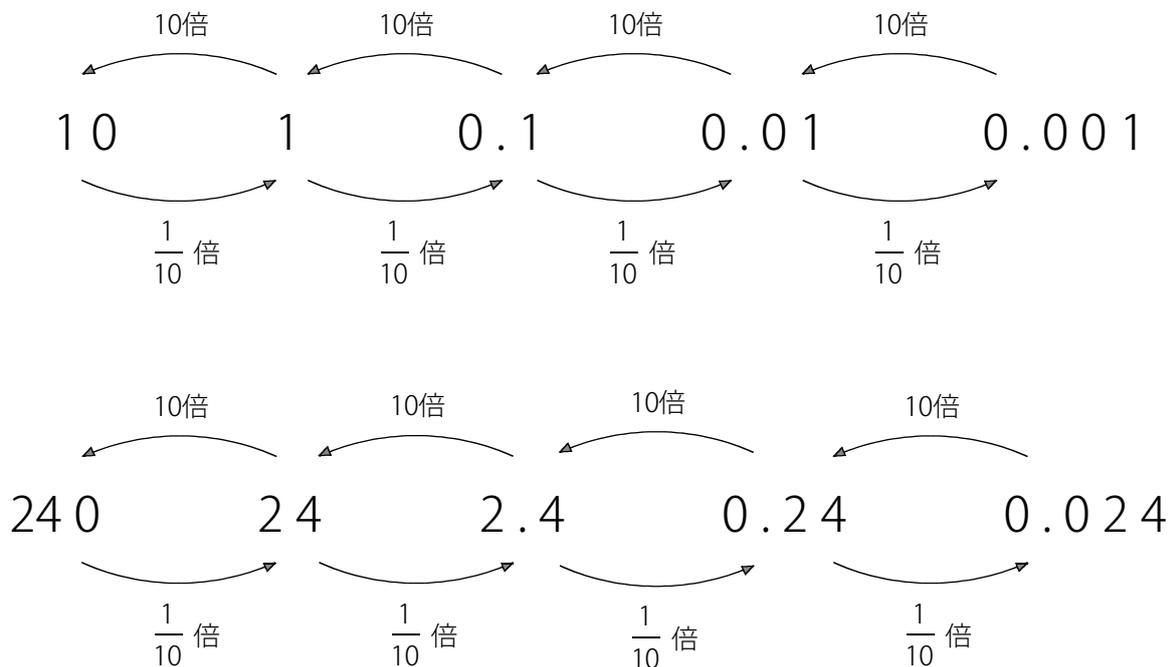
- (1) 0.1×10
- (2) 100×0.1
- (3) 57×0.1
- (4) 24×0.01
- (5) 150×0.01

答え (1) 1 (2) 10 (3) 5.7 (4) 0.24 (5) 1.5

[例題3の解説]

0.1をかけるのは $\frac{1}{10}$ 倍にするのと同じです。 $\frac{1}{10}$ 倍にすると小数点は1けた左に移ります。

0.01をかけるのは $\frac{1}{100}$ にするのと同じです。 $\frac{1}{100}$ 倍にすると小数点は2けた左に移ります。





例題と解説

(1) $0.1 \times 10 = 1$

(2) $100 \times 0.1 = 10$

(3) $57 \times 0.1 = 5.7$

(4) $24 \times 0.01 = 0.24$

(5) $150 \times 0.01 = 1.5$



例題4

次の計算をなさい。

- (1) 8×0.03
- (2) 3.6×4
- (3) 1.8×4.6
- (4) 12.8×1.06
- (5) 6.13×25.4
- (6) 0.67×90.4

答え (1) 0.24 (2) 14.4 (3) 8.28 (4) 13.568 (5) 155.702 (6) 60.568

[例題4の解説]

小数のかけ算は整数で計算したものに小数点をつけるだけです。

(例) 12×1.6 のとき $12 \times 16 = 192$

12×1.6 には小数点より下の位が1個あるので 192に小数点を打って19.2となります。

(1) $8 \times 3 = 24$

8×0.03 には小数点より下の位が2個あるので $8 \times 0.03 = 0.24$

(2) $36 \times 4 = 144$

3.6×4 には小数点より下の位が1個あるので $3.6 \times 4 = 14.4$

(3) $18 \times 46 = 828$

1.8×4.6 には小数点より下の位が2個あるので $1.8 \times 4.6 = 8.28$

(4) $128 \times 106 = 13568$

12.8×1.06 には小数点より下の位が3個あるので $12.8 \times 1.06 = 13.568$

$$\begin{array}{r} 12.8 \\ \times 1.06 \\ \hline 768 \\ 000 \\ 128 \\ \hline 13.568 \end{array}$$



例題と解説

(5) $613 \times 254 = 155702$

6.13×25.4 には小数点より下の位が3個あるので $6.13 \times 25.4 = 155.702$

(6) $67 \times 904 = 60568$

0.67×90.4 には小数点より下の位が3個あるので $0.67 \times 90.4 = 60.568$



例題5

次の計算をなさい。

- (1) $9.6 \div 2$
- (2) $21.6 \div 3$
- (3) $10 \div 4$
- (4) $12 \div 8$
- (5) $1 \div 4$
- (6) $88.74 \div 18$

答え (1) 4.8 (2) 7.2 (3) 2.5 (4) 1.5 (5) 0.25 (6) 4.93

[例題5の解説]

小数の割り算は整数で計算したものに小数点をつけるだけです。

(例) $4.8 \div 3$

右図のようになります。

割られる数の4.8の小数点をそのまま上に上げます。

$$\begin{array}{r} 1.6 \\ 3 \overline{) 4.8} \\ \underline{3} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

(1) $9.6 \div 2 = 4.8$

(2) $21.6 \div 3 = 7.2$

(3) $10 \div 4 = 2.5$

$$\begin{array}{r} 4.8 \\ 2 \overline{) 9.6} \\ \underline{8} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7.2 \\ 3 \overline{) 21.6} \\ \underline{21} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.5 \\ 4 \overline{) 10.0} \\ \underline{8} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$



例題と解説

(4) $12 \div 8 = 1.5$

$$\begin{array}{r} 1.5 \\ 8 \overline{) 12.0} \\ \underline{8} \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array}$$

(5) $1 \div 4 = 0.25$

$$\begin{array}{r} 0.25 \\ 4 \overline{) 1.00} \\ \underline{8} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

(6) $88.74 \div 18 = 4.93$

$$\begin{array}{r} 4.93 \\ 18 \overline{) 88.74} \\ \underline{72} \\ 167 \\ \underline{162} \\ 54 \\ \underline{54} \\ 0 \end{array}$$



例題6

次の計算をなさい。

- (1) $6 \div 0.3$
- (2) $5 \div 0.04$
- (3) $0.08 \div 0.2$
- (4) $6.72 \div 1.4$
- (5) $2.43 \div 2.7$
- (6) $0.054 \div 3.6$

答え (1) 20 (2) 125 (3) 0.4 (4) 4.8 (5) 0.9 (6) 0.015

[例題6の解説]

割る数が小数の場合は、割る数を整数にして計算します。

(例) $5.4 \div 0.03$

0.03を100倍して3にします。

同じように5.4も100倍にして540にします。

$$\begin{array}{r} 180 \\ \cancel{0.03} \overline{) 5.40} \\ \underline{3} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \\ 0 \\ \underline{0} \\ 0 \end{array}$$

- (1) $6 \div 0.3 = 60 \div 3 = 20$
- (2) $5 \div 0.04 = 500 \div 4 = 125$
- (3) $0.08 \div 0.2 = 0.8 \div 2 = 0.4$



(4) $6.72 \div 1.4 = 67.2 \div 14 = 4.8$

$$\begin{array}{r} 4.8 \\ 1.4 \overline{) 6.7.2} \\ \underline{56} \\ 112 \\ \underline{112} \\ 0 \end{array}$$

(5) $2.43 \div 2.7 = 24.3 \div 27 = 0.9$

$$\begin{array}{r} 0.9 \\ 2.7 \overline{) 2.4.3} \\ \underline{243} \\ 0 \end{array}$$

(6) $0.054 \div 3.6 = 0.54 \div 36 = 0.015$

$$\begin{array}{r} 0.015 \\ 3.6 \overline{) 0.054} \\ \underline{36} \\ 180 \\ \underline{180} \\ 0 \end{array}$$



ポイントまとめ

- 0.1(れいてんいち)は1を10個に分けた1個分です。つまり0.1が10個で1になります。
- 0.01(れいてんれいいち)は1を100個に分けた1個分です。つまり0.01が100個で1になります。
- 小数の足し算や引き算は小数点をそろえて計算します。
- 0.1をかけるのは $\frac{1}{10}$ 倍にするのと同じです。 $\frac{1}{10}$ 倍にすると小数点は1けた左に移ります。
- 0.01をかけるのは $\frac{1}{100}$ にするのと同じです。 $\frac{1}{100}$ 倍にすると小数点は2けた左に移ります。
- 割る数が小数の場合は、割る数を整数にして計算します。